

小学校社会科学学習指導案

尾道市立栗原小学校

教諭 升 谷 英 子

1 学 年 第5学年

2 単元名 「わたしたちの生活と工業生産」～工業生産と貿易～

3 単元設定の理由

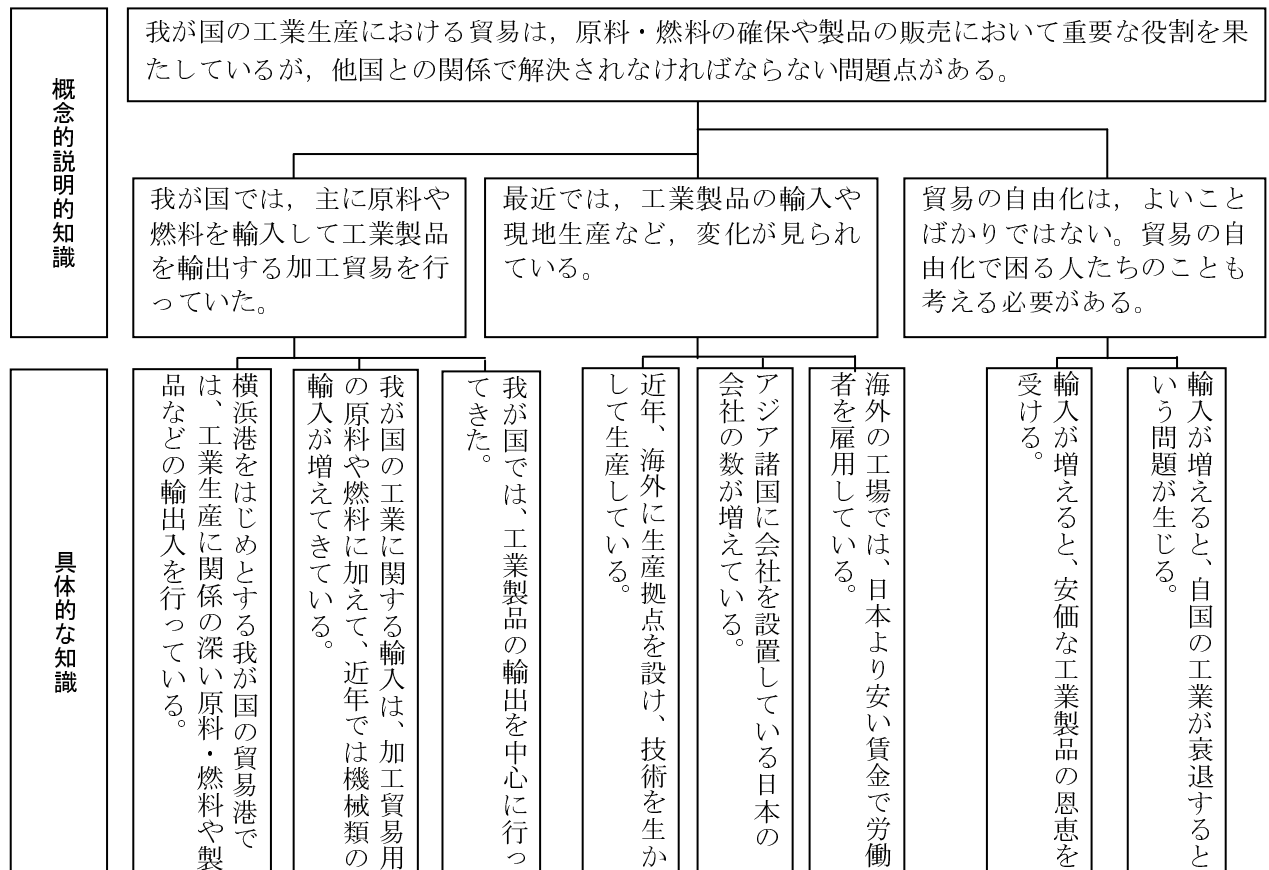
本単元に関連する学習指導要領の内容

(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

○単元観

〈知識の構造図〉



本小単元では、我が国全体の工業生産の現状や特色、工業生産に従事している人々の工夫や努力、貿易や運輸の働き等について捉え、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考えさせることをねらいとしている。

現在、日本は、工業生産額が世界で第3位である。高度経済成長期には、国内に資源が乏しいため、原料を輸入して製品を輸出する加工貿易で日本経済を支え、めざましい発展を遂げた。しかし、1970年代以降、貿易摩擦が大きな国際問題となった。1980年代後半からは、日本企業の海外進出が

さかんになり、1994 年以降、海外生産が輸出を上回るようになった。現在では、日本国内での生産や雇用が減少するという産業の空洞化や外国人労働者との文化面での相互理解の不足という課題も持ち上がってきている。一方、国内では高い技術力を保つための研究・開発に重点が置かれるようになっており、我が国の工業生産の様子が変化してきている。このような我が国の工業や貿易の特色について考察したことをもとに、これからの工業生産の在り方について思考・判断させることができることから、児童の経済的な見方や考え方の基礎を養うことに適したものである。

○児童観

本学級の児童に対して、第二学期に小单元「環境を守るわたしたち」終了後、思考力に関するテストを実施した。「なぜ、この取組が環境を守ることにつながるのだろうか。」という設問に対して、資料から必要な情報を取り出し、京都府や水俣市の学習で習得した知識と関連付けながら、適切に回答した児童は 8 人、資料から必要な情報を取り出し、その理由を適切に回答した児童は 16 人、資料から必要な情報を取り出してはいるが、理由を適切に回答できなかった児童は 7 人であった。この結果から、既習事項と関連付けて自分の言葉で説明するというところに課題があることが明らかになった。

○指導観

本小单元では、設定した研究テーマ「社会的な見方や考え方を成長させる社会科授業」の実現に向けて、資料からわかることや既習事項と関連付けて根拠を明確にし、自分の言葉でノートにまとめさせることを大切にしていって取り組んでいく。

指導に当たっては、高度経済成長期の日本の輸出入品目の内訳から、原料を輸入し優れた技術で加工して外国に安く製品を輸出する加工貿易について、具体的な事例を通して理解させていく。さらに現在では、海外生産が増えていることや、衣類の輸入が大幅に増えていることの理由を価格と費用の面から考えさせることを通して、経済的な見方や考え方の基礎を養っていく。

4 小单元の目標

- 我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子に関心をもち、進んで調べることを通して、工業生産や国民生活を支える我が国の貿易の特色や役割を理解するとともに、その課題や発展について考えようとすることができる。
- 我が国の貿易の様子から学習問題を見だし、地図、統計、写真などの資料を活用して調べたことを白地図や作品にまとめるとともに、我が国の貿易の特色や役割について、工業生産や国民生活と関連付けて思考・判断し、適切に表現することができる。

5 小单元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
① 我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子に関心をもち、進んで調べようとしている。	① 我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子について学習課題や予想、学習計画を考えている。	① 地図、統計、写真などの資料を活用して必要な情報を集め、我が国の貿易の様子や課題を読み取ってまとめている。	① 我が国の貿易には「加工貿易」などの特色があり、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。

②我が国の貿易の発展を願い、その課題の解決について考えようとしている。	②我が国の貿易の特色や役割を工業生産や国民生活と関連付けて考え、適切に表現している。 ③我が国の貿易の特色の変化を価格と費用の面から考え、適切に表現している。		②他国との間に貿易にかかわる課題があり、工業生産や国民生活の維持、向上のためにその解決が大切であることを理解している。
-------------------------------------	--	--	---

6 指導と評価の計画（全6時間）

過程	時	○主な学習活動と内容	◎指導上の留意点	◇評価規準
であう	1	○横浜港の貿易の特色を調べ、輸出入品などについて資料から読み取る。 ○我が国の貿易の現状から我が国の工業の特色に関する学習問題をつくる。 日本の工業生産には、どのような特色があるのだろう。	◎各種資料から読み取ったことを比較・関連付けて学習課題をつくらせる。	◇我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子に関心をもち、進んで調べようとしている。 ア－①【関意態】 ◇我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子について学習課題や予想、学習計画を考えている。 イ－①【思判表】
ふかめる	2 3	○我が国の主な輸出入品や輸出入相手国を調べ、発表する。 ○主な輸出入品、輸出入品の取扱額の変化を調べ、我が国の工業生産における輸入品の変化を考える。	◎変化に着目し、何が減ったのか、増えたのかを明確にする。その上で、加工貿易といった言葉を活用してまとめさせる。 ◎各種資料をもとにして、貿易の様子が変わってきていることを捉えさせる。	◇我が国の輸入の様子について統計資料を活用して調べ、主な輸入品や輸入相手先、その特色や変化を読み取ってまとめている。ウ－①【技】 ◇我が国の輸出は機械類などの工業製品が中心であり、その働きが工業生産を支えていることについて考え、適切に表現している。 イ－②【思判表】
	4 本時	○海外生産の様子について知り、増加している理由を考える。	◎各種資料をもとに、海外生産のメリットについて考えさせ、現在の日本の貿易の特色をおさえる。	◇我が国の貿易の特色の変化を価格と費用の面から考え、適切に表現している。 イ－③【思判表】
まとめる	5	○これまでの学習を振り返り、単元のまとめをする。	◎輸出入の特色について、これまでの学習をもとにノートにまとめさせる。	◇我が国の貿易の発展を願い、その課題の解決について考えようとしている。ア－②【関意態】

				◇我が国の工業に携わる人々の工夫や努力, 運輸や貿易の働きなどによって支えられ, 国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。 エー①【知理】
いかす	6	○貿易における問題点（自由貿易など）を明らかにし, 自分の考えをまとめ発表する。	◎セーフガードや英語の意味などを捉え, 本文と併せて現在の貿易の問題点を具体的に示して考えさせる。	◇他国との間に貿易にかかわる課題があり, 工業生産や国民生活の維持, 向上のためにその解決が大切であることを理解している。 エー②【知理】 ◇我が国の貿易の問題点やそれらを解決するための方法について思考, 判断し, 他国と協調しながら貿易を進めていくことの大切さを発表している。 イー②【思判表】

7 本時の展開

○本時の目標

日本は, 中国などのアジア諸国の安い労働力によって現地生産された繊維製品を輸入し, 販売しているという事実から, 経済の基本的な考え方である生産費（コスト）をおさえて利益を上げる工夫や努力について考えることができる。

○設定した言語活動を通して育てたい力

資料を比較・関連付けることを通して, 加工貿易から海外生産が増え製品を輸入する貿易へと変化した理由について考えることができる。

多面的に考察する力
(思考力の育成)

○準備物

資料（中国との貿易円グラフ, 価格の内訳グラフ, 海外にある日本の工場数の推移グラフ）

○学習の展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手だて）	評価規準[観点] (評価方法)
1 前時の学習内容を振り返る。	◇掲示物をもとに振り返る。	
2 資料を比較し, 学習課題をつくる。	◇日本で販売されている二つの同じ種類の繊維製品（中国製と日本製）を提示し, 生産国や値段を予想させる。	

3 予想する。	◇見た目の違いはそれほどないが、値段の違いや生産された国が違うことを確認する。 めあて 同じような商品なのに、なぜ、日本の商品と比べてこんなに安く売ることができるのだろうか。 ◇これまでの既習の事項から予想させる。 ・中国産は大量生産しているから安いんだと思う。 ・機械化が進んでいるのだと思う。 ・外見は同じでも、日本製の方が品質がいいのだと思う。	
4 資料をもとに、海外生産が増えた理由を考える。 (中国からの輸入円グラフ) (価格の内訳グラフ) (賃金の比較)	◇中国からの輸入品目のグラフから、繊維製品の輸入が多いことを捉えさせる。 ◇身の回りの多くの衣服が中国から輸入していることをおさえる。 ◇価格の内訳についておおまかに知らせ、価格には、原材料費や輸送費、人件費、利益などが含まれることをおさえる。 ◇日本から原材料となる生地を中国に輸出し、中国で縫製した製品を輸入している会社があることを伝えて考えさせる。 日本でも生産できる技術があるはずなのに、なぜ、わざわざ中国でつくっているのだろう。 ◇日本と中国との労働者の賃金を比較し、中国の労働者の賃金がかかなり安いことから考えさせる。 ◇アジア諸国に日本の工場が増加していることが分かるグラフを提示し、他のアジア諸国においても同様の状況が見られることから、習得したことの一般化を図る。 ◇製品の販売では値段だけではなく、品質も重要な要素なので、製品の品質を維持したり向上させたりするために、現地に日本人の技術者を派遣していることをおさえる。	
5 学習のまとめをする。 6 振り返りをする。	◇評価問題をする。(発問) 「学習課題に対する学習のまとめを書きましょう。」 【学習のまとめ】 中国などのアジア諸国の低い賃金で現地生産した方が、生産にかかる費用をおさえて売ることができるから。 品質についても、日本の技術者が品質を落とさない努力をしたり、技術を現地の人に伝えたりして、日本の人に安心して買ってもらえるようにしているから。 ◆板書の中からキーワードとなる語句を提示する。 B評価の判断基準：海外生産が増えている理由を、生産費用の面から考え、まとめを書いている。 A評価の判断基準：B基準に加えて、技術も伝えて品質向上にも力を入れていることにも触れ、まとめを書いている。 ◇今日の学習で考えたことを書かせる。	◇海外生産が増えた理由を価格と費用の面から考え、適切に表現している。 イー②【思判表】(発言・ノート)